



豊玉二中だより

令和4年度 第12号
発行日 1月12日(木)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

新年を迎えて

校長 神山 信次郎

新年明けましておめでとうございます。令和5年卯年はどのような年になるのでしょうか。うさぎのように、飛び跳ねる「飛躍」「向上」の年にしたいものです。ばたばたすることだけではないように準備をおこたらず、生徒の皆さんが安心して生活ができる豊玉二中を作ろうと決意を新たにしています。去年はワールドカップで世界が盛り上がり、勇気や感動をもらいましたが、一方で3月に起きたウクライナ侵攻の影響で未だに不自由な生活を送っている方々がいることを忘れてはなりません。また、世界に目を向けると、戦争や紛争など争いが絶えない地域が今もなお残されていて、学校へ行くこともできない子どもたち、それどころか、食べるものもなく生きることすらできない子どもたちが多くいることに心が痛みます。

私たちは、幸いにも厳しい生活を強いられているわけではありません。むしろ、豊かな社会の中で不自由なく生活していると言えます。本当に有難いことです。私たちはこれを「当たり前」と感じてしまいがちですが、実はこの生活があるのは長年にわたる多くの人々の努力のたまものであることを忘れてはならないと思います。ところが、このことを私たちはつい忘れてしまい、不平や不満を口にします。私は、まず、今の生活に感謝することから今年1年をスタートしたいと思います。そして、今立っている足下をしっかり見つめ、目標へつながる一步を踏み出したいと思います。

新しい年には、誰もが新鮮な気持ちで家内安全や家族の健康を願い、その上で「今年は何々を頑張るぞ」などの誓いを立てているのではないのでしょうか。「何々を頑張るぞ」の中には昨年十分な取り組みができなかったり、結果を出すことができなかったりした内容が多く含まれると思います。ぜひ、去年の反省を踏まえ、長期的な目標「夢」、短期的な目標（身近なところで現実可能なもの）を立てて、充実した1年にしてほしいとも思います。サッカー日本代表キャプテンの吉田麻也選手が「勝つために必要なことは何ですか」という中学生の質問に、ひと言「準備」と答えていました。夢をつかむことというのは、一気にできません。小さなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。夢の実現のために、日々準備していきましょう。

新年を迎え、今年も生徒の皆さんが元気な笑顔と一所懸命頑張る姿を見せてくれることを期待します。どんな困難でも乗り越える勇気を皆さんは確実にもっています。自分の力を信じて自らの将来を切り拓いてください。自分を信じて、一歩ずつ進み続けていくしかないのです。明日から一歩ずつです。大切なことは、自分自身が何をしたいのかを忘れないことです。折にふれ、それを振り返ることができる人であってほしいと願います。

